

## 2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト	(単位：千円)
----------	---------

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	29・28年度比
コスト	事業費	5,875	6,574	7,032	△ 699
	人件費	13,036	13,664	13,090	△ 628
	総事業費	18,911	20,238	20,122	△ 1,327
人員	正職員	1.95 人	1.95 人	1.95 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.95 人	1.95 人	1.95 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	151	0	△ 151
	一般財源	18,911	20,087	20,122	△ 1176

#### 4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	会議・行事・催事等の出席率	%	目標					
独自指標			実績		63.2	65.3	64.7	63.8
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明		市長及び副市長に案内のあった会議等に係る出席率						
指標	市民一人あたりの交際費の額	円	目標					
独自指標			実績		16.0	18.0	23.3	24.0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明		交際費決算額÷平成31年4月1日現在の人口						
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価		市長及び副市長に係るスケジュール管理を適切に行うことにより、市として必要となる各種会議等に出席しました。 交際費の支出基準に基づき、社会通念の範囲内での適正な執行に努めました。						

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	県内や全国での秘書業務を鑑みながら、事務を取り計らっていく。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性			※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	秘書事務事業	継続	市長及び副市長の秘書に関する業務
	秘書事務事業	継続	市の渉外及び交際に関する業務

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性			方向性の理由	経常的に行っていく事務であるため継続します。
目標年度				
中長期的な方向性		継続		
目標年度				

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	施策項目					
実施事業名 (小事業)	秘書事務事業					
事業で得られた ノウハウや気づき等	<ul style="list-style-type: none"><li>県内や北信越地区等の各市が有する課題や問題解決への取組み内容の収集ができています。</li><li>近隣自治体や関係自治体・関係団体との交流や意見交換の有効的な機会として利活用ができています。</li></ul>					

## 2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト (単位：千円)

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	29・28年度比
コスト	事業費	18,556	21,624	18,872	△ 3,068
	人件費	15,710	16,466	15,776	△ 757
	総事業費	34,266	38,090	34,648	△ 3,825
人員	正職員	2.35 人	2.35 人	2.35 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	2.35 人	2.35 人	2.35 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	1,128	728	433	400
	一般財源	33,138	37,362	34,215	△ 4,225

#### 4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	「広報さかい」総ページ数	ページ	目標					
独自指標			実績		364	368	380	368
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明		「広報さかい」総ページ数						
指標	市長記者会見・懇談会の開催回数	回	目標					
独自指標			実績		10	11	11	11
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明		市長記者会見・懇談会の開催回数						
指標	集団広聴の開催回数		目標					
独自指標			実績		2	1	1	2
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明		集団広聴の開催回数						
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価		「広報さかい」の発行や市長記者会見の開催を通じ、市民に対して適切に市政情報を提供することができました。また、集団広聴などの広聴事業を通じ、市民から意見等に傾聴する機会を設けました。						

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題		
	『広報さかい』発行業務については、これまでの紙媒体での全戸配布に加え、市ホームページへの掲載により、市民が市政情報を得られやすくなるように努めています が、併せて、市民が市政情報に対して関心を持ってもらうことも必要です。 広聴事業では、従来の記者会見懇談会の機会を有効に活かしながら、市政情報の発信に努めていきます。		
これまでの見直しや改善等の実績	『広報さかい』発行業務では、多様な情報発信手段を有することで、市民が市政情報をより容易に取得できるよう、スマートフォン用アプリ「マチイロ」や、インターネット上で自分に合わせた記事を見ることができる「マイ広報紙」を導入して、利便性の向上に努めています。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性			※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	広報広聴事業	継続	広報紙「広報さかい」の発行に関する業務 ・発行頻度やページ数などについては、適宜見直し等の要望に応じていきます。
	広報広聴事業	継続	市長記者会見に関する業務 ・有用な機会となるよう、努めていきます。
	広報広聴事業	継続	広聴事業に関する業務 ・様々な機会を捉えて、市民の意見に傾聴していきます。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性			方向性の理由	行政からの情報発信や市民からの意見聴取など、いずれも事業も大きな変更をすることなく、継続して実施していくものであるため。
目標年度				
中長期的な方向性		継続		
目標年度				

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	施策項目					
実施事業名 (小事業)	広報広聴事業					
事業で得られた ノウハウや気づき等	<ul style="list-style-type: none"><li>市民に対して伝わりやすい、触れてもらいやすい情報発信方法を常に検討しています。</li><li>定期的に報道機関各社と接する機会があることにより、普段よりスムーズな行政情報の提供ができる関係性を構築できています。</li></ul>					

## 2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト	(単位：千円)
----------	---------

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	29・28年度比
コスト	事業費	37,477	36,913	37,444	564
	人件費	11,699	12,262	11,748	△ 564
	総事業費	49,176	49,175	49,192	1
人員	正職員	1.75	1.75 人	1.75 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.75 人	1.75 人	1.75 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	35,000	0	0	35000
	一般財源	14,176	49,175	49,192	△ 35000

#### 4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	ケーブルテレビ加入率	%	目標					
独自指標			実績		68.6	68.2	67.4	66.9
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の説明	さかいケーブルテレビ加入率						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の説明							
指標に基づく評価		ケーブルテレビ加入率が前年度比0.4%増の68.6%となり、市民の行政チャンネルを視聴できる割合は、増えています。						

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題		
	ケーブルテレビ加入率の増加やこれまでの番組制作の取り組みにより、行政チャンネルに対する市民の認知度は徐々に向上していると捉えています。しかし、ケーブルテレビ加入率は、ここ数年微増の状況であり、これ以上大きく増やしていくことは難しいと考えます。		
これまでの見直しや改善等の実績	普段より、より多くの市民に行政チャンネルを見てもらえるように、定期的にコーナーのリニューアルを行い、その際には、対象となる年齢層の拡大や市民ニーズに沿ったコーナーとなるかの検討を行いました。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性			※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	行政チャンネル運営事業	改善（見直し）	市民に身近な出来事やイベント、さらには子どもたちや地域資源等を番組で取り上げることににより、市民に対する行政チャンネルの認知度の更なる向上を図ります。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		継続	方向性の理由	市民に身近な出来事やイベント、さらには子どもたちや地域資源等を番組で取り上げることににより、市民に対する行政チャンネルの認知度の更なる向上を図ります。また、令和6年にハイビジョン放送設備の保守期限が切れるため、それまでにその後の行政チャンネルのあり方を検討する必要がありますが、このタイミングだけにとらわれず、様々な情報発信媒体の利活用の模索や、費用と効果の検証などを行っていきます。
目標年度				
中長期的な方向性		改善（見直し）		
目標年度				

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	施策項目					
実施事業名 (小事業)	行政チャンネル運営事業					
事業で得られた ノウハウや気づき等	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 幼保園の園児やサークル活動を取り上げるなど、市民に親近感を持ってもらいやすい番組作りを、常に心掛けています。</li><li>・ 文字放送などを利活用した、緊急的な情報提供手段の整備を行っています。</li></ul>					



## 2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト	(単位：千円)
----------	---------

		平成30年度	平成29年度	平成28年度	29・28年度比
コスト	事業費	2,624	3,123	3,013	△ 499
	人件費	6,351	6,657	6,377	△ 306
	総事業費	8,975	9,780	9,390	△ 805
人員	正職員	0.95 人	0.95 人	0.95 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.95 人	0.95 人	0.95 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	8,975	9,780	9,390	△ 805

#### 4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	ホームページ訪問件数 (セッション数)	万件	目標		120.0	120.0	120.0	
独自指標			実績		116.0	110.8	95.6	
			達成率(%)	0.0	96.7	92.3	79.7	0.0
	指標の説明	ホームページ訪問件数（セッション数）						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の説明							
指標に基づく評価		ホームページ訪問件数（セッション数）は目標値には達しなかったものの、前年度比約4.7%増となりました。						

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	ホームページを活用した情報発信の強化と閲覧者の利便性の向上に努めることにより、ホームページ訪問件数の増加を図ります。		
これまでの見直しや改善等の実績	ホームページから発信する行政情報を充実させていくため、市職員を対象とした「ホームページ更新システム操作研修会」を開催するなど、情報発信に関する職員の意識向上に努めました。		

6.第2次総合戦略期間に向けた方向性

次期総合戦略期間（令和2年度から令和6年度）の方向性			※各小事業の今後5年間の事業内容を記載してください
方向性とその事業内容 (小事業)	小事業名	方向性	第2次総合戦略期間の事業内容
	ホームページ運営事業		ホームページを活用した情報発信の強化と閲覧者の利便性の向上に努める。

7.事業全体の今後の方向性

短期的な方向性		方向性の理由	ホームページを活用した情報発信の強化と閲覧者の利便性の向上に努めることにより、ホームページ訪問件数の増加を図ります。また、より安心してホームページを閲覧してもらえる環境整備を行うためホームページ全体の通信を暗号化する常時SSL接続に対応する改修を行っていきます。
目標年度			
中長期的な方向性			
目標年度			
		継続	

8.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	施策項目					
実施事業名 (小事業)	ホームページ運営事業					
事業で得られた ノウハウや気づき等	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報発信の即時性や鮮度を保つことができるよう努めました。</li><li>・ 庁内各部署からの情報掲載依頼が増加し、行政情報の発信手段として定着しています。</li><li>・ 各事業担当で原稿作成やシステムへのアップがスムーズに出ないときには、都度説明やサポートをするなど、事務的な手間としてのハードルを下げることに努めています。</li></ul>					